



# 市民総参加子ども育成運動

## 子どもへのまなざし運動特集

子どもへのまなざし100%を目指して

スポーツの秋、実りの秋。地域の運動会やお祭りに子どもたちと出かけましょう。

### 第4回「まなざしキラリ賞」を募集中

表彰部門(2部門) 個人の部・団体の部

対象 市内居住の個人、団体または、まなざし運動に参加登録した企業、事業所

申込方法 所定の応募用紙に記入し、郵送、持参、電子メールで申し込みください。

申込書は公民館等に設置しています。

申込期限 10月31日(木)

申し込み・問い合わせ 佐賀市成章町1番7号 佐賀市教育委員会 青少年課

子どもへのまなざし運動推進室 ☎40・7354 FAX24・2332

✉seishone@city.saga.lg.jp

### 『まなざし放送局』開局中!

えびすFMで、「第3回まなざしキラリ賞」受賞者の取り組みを紹介する番組「まなざし放送局」を放送しています。

受賞者のみなさんからの「地域への思い」や「子どもたちへのメッセージ」お伝えします。

放送日時 8月7日(水)〜10月30日(水)の毎週水曜日

放送時間 18時〜18時55分  
放送チャンネル えびすFM(89.6MHz)

### 「プレパパの輝くまなざし」(ゆめ・ぼけっと)

エスプラッツ2階に親子で遊具などを使い、ふれあいながらコミュニケーションがとれる素敵な「ゆめ・ぼけっと」があります。

先日の日曜日、「ぼけっとひろば」の隣にある「多目的室」では一年に12回開催される「プレママ&パパサロン」が開かれていました。内容は堅苦しいものではなく、人形の赤ちゃんを使った「抱き方」「風呂の入れ方」などの実技研修や、もうすぐパパになる人の「妊婦体験」というユニークな研修も行われていました。20組40人という参加者の多さに驚きましたが、もっと驚いたのは熱心に耳を傾けているプレパパたちの真剣なまなざしでした。サロンでいろいろなることを学び、やがて誕生して子どもを育てることの役割と責任を強く自覚されていることでしょう。

まなざしリポーター 的野 勝



### 地域元気アップ事業 北山ふれあい企画推進協議会

自然の中での体験活動を通して豊かな心を

北山ふれあい企画の二大行事の一つ、「北山ふれあいキャンプ」を、小中一貫校北山校を会場に8月2日(金)・3日(土)の1泊2日で開催しました。素晴らしい天気にも恵まれ、笑顔いっぱい2日間を過ごすことができました。

キャンプには、北山校の児童生徒61人と市内の小学生39人が参加しました。子どもたちは、オリエンテーリング、川遊び(中学生はカヌー体験)、キャンプファイヤー、魚のつかみ取り、きもだめしなど北山の自然を活かしたさまざまな活動を体験しました。今年も一番人気は川遊びでした。運営は大変ですが子どもたちの笑顔のためならと参加する地域のバックアップ体制が北山の自慢です。そろそろ12月の冬まつりの計画準備に取り掛かかります。ふれあい企画の行事を通して、子どもたちが、北山の豊かな自然と人の温もりを肌で感じ、心豊かに愛に満ちた人間になってくれることを夢見ながら…

北山ふれあい企画推進協議会 会長 生田 栄治



### 「届け、ぼけらの鐘の音」(呉服元町)

平和の鐘をこらこら

呉服元町にある願正寺で、8月15日(木)に鐘をついて、平和を祈る催しがありました。これは、22年前に湾岸戦争の終結を願って、佐賀県内のお寺などで鐘が鳴らされた事をきっかけに始まりました。今回は、ボーイスカウト佐賀第一団の団本部でもあり、ボーイスカウトも毎年参加しています。幼稚園年長から小学2年生までのボーイスカウトも保護者と一緒に行っていました。

鐘つき堂の狭くて急な階段を上るボーイたちは、ちよつと緊張気味です。「コーン!」前任職さんのつく鐘の音の迫力に、ボーイたちは思わず耳に手を当てました。いよいよボーイたちの番です。「思いをこめて、頑張つてこらね」大人の声かけに、「コリコリとなすと真剣な面持ちで鐘をつきました。「コーン」小さな音でしたが、ボーイたちのみんな仲良しになるうという想いがこもったものでした。

「平和の鐘をついたことは心の中に残り、やがて、本当に平和を願つことにつながっていくことでしょう。」

まなざしリポーター 新郷 典子



### 地域元気アップ事業 思斉の教育を進める会

子どもたちも地域をささえる一人です

思斉の教育を進める会が元気アップ事業に採択されて4年目になります。「地域一体となって子どもを育てる活動一覧表」を全世帯に配布し、子どもたちの出番、役割、承認の場をつくる活動をしてきました。

8月18日(日)、久保田農村環境改善センター敷地内で開催された「第三回思斉館まつり」には、小中一貫校思斉館PTAを中心とした実行委員会に中学部生徒会も加わり、子どもたちも主催者として祭りに参加しました。ラムネの早飲み大会、小中生活紹介などでは中学部生徒会が司会を担当。部活紹介では、練習の再現、演技の披露はもちろんです。コントによる紹介など各部工夫を凝らし、観客からたくさん拍手が送られていました。また、参加者みんな協力して「思斉館」の人文文字も作りました。

思斉館まつりでは、多くの子どもたちが地域を支える一人として活躍してくれました。

思斉の教育を進める会 会長 西岡 豊



### 地域元気アップ事業 勤興わんぱく会

古紙回収の取り組みを通して

来年度の勤興小学校創立140周年に向けて校区一丸となって取り組もうと始めた「古紙回収」。今年度は1回目を6月29日(土)に実施しました。各家庭やマンション、地域商店などの協力を得て、この日までに少しずつ集積した分も含めて合計10トンになりました。この取り組みは、子どもの育みを地域が一体となって進めていきたいと考えているのです。そのためには、回収量を増やすことも大切ですが、少しでも多く子どもの出番を作り、子どもを主体とした取り組みへと広げていくつもりです。子どもの役割については、具体策も提案されていますので、保護者や学校の理解を得ながら次回以降に活かしたいと思えます。

この事業を通して地域の皆さんが勤興小学校の歴史を誇りに思い、郷土を愛する心が浸透することを期待しています。

勤興わんぱく会 会長 中原 喜男



### 問い合わせ

佐賀市教育委員会 青少年課 子どもへのまなざし運動推進室 ☎40・7354 FAX24・2332